

大会要項 第106回天皇杯全日本サッカー選手権岡山社会人予選 兼国体予選会
兼第46回岡山県サッカー選手権社会人予選

1. 参加資格

- ・令和7年度日本サッカー協会第1種登録し、岡山社会人サッカー連盟加盟チームであること。
- ・令和8年度日本サッカー協会第1種登録を確実にし、岡山社会人サッカー連盟に加盟するチームであること。
- ・令和7年度&日本サッカー協会第1種登録選手（移籍を含む）、または令和8年度登録予定の選手の内、事前登録した選手30名であること。
- ・選手登録の期限は2月6日(金)までとし、大会担当：有田宛にメールにて連絡方。
- ・背番号は代表決定戦まで変更可能とする。

2. 会場

灘崎総合公園
水島緑地福田公園
美作ラグビーサッカー場
IPU環太平洋大学瀬戸グラウンド、一部未定

3. 競技会規定

- ・「サッカー競技規則2025/26による。（新ルール）
- ・選手交代については、予め届け出た7名以内の交代要員から5名の交代を認める。
（交代回数はハーフタイムを除き最大3回）
- ・延長戦において、更にもう1人の交代要員を使うことができる。（各チームに1回、追加の交代回数を与える）
- ・**脳震盪の交代（再出場なし）は、競技規則による。**

4. 競技方法

- ・トーナメント方式により代表2チームを決定する。
- ・トーナメント2ブロックのそれぞれの勝者を第一代表、第二代表とする。
- ・代表2チームは県選手権への出場権を得、出場の義務を負う。
- ・試合時間は70分(H.Tのインターバルは10分)とし、勝敗の決しない場合はPK方式により勝敗を決する。
但し、3回戦以降は80分(H.Tのインターバルは10分)とし、20分間(10分+10分)の延長を行い、それでも勝敗を決しない場合は、ペナルティーマークからのキックにより勝敗を決する。

5. 懲罰

- ・本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- ・大会規律委員会の委員長は社会人連盟規律委員長とし、委員については社会人連盟委員長が決定する。
- ・警告を2回受けた選手等は、次の1試合には出場出来ない。
- ・本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の1試合に出場できず、（負けた場合は直後の公式戦）それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- ・県選手権大会へは警告の累積は持ち越さない。
- ・本大会要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

6. 運営

- ・会場の設営（ライン引き、ゴールの設置等）は、第1試合の両チームが試合開始の60分前迄に完了すること。
（当日の会場担当運営役員の指示に従ってください）
- ・会場の撤収（トンボ掛、ゴール、フラッグの撤去、ゴミ拾い等）は、最後の試合の両チームが行う。
- ・**第1回戦、第2回戦では 副審・記録運営の割り当てが各チームにあります**
第3回戦、代表決定戦では 記録運営の割り当てが各チームにあります
- ・記録とボールパーソン、運営補助は組合せ番号の小さい方のチームが前半を、大きい方のチームが後半を担当する。
試合開始20分前より本部席にて行い、公式記録用紙に記録願います。
- ・運営チームは、最低5名（記録2名、ボールパーソン3名）以上で対応すること。

[記録や運営補助の分担]

- ・2試合/日の場合：1試合目は2試合目のチームが、2試合目は1試合目のチームが行う。
- ・4試合/日の場合：1試合目は3試合目のチームが、2試合目は4試合目のチームが行う。
3試合目は1試合目のチームが、4試合目は2試合目のチームが行う。
- ・3試合/日の場合：1試合目は2試合目のチームが、2試合目は3試合目のチームが行う。
3試合目は1試合目のチームが行う。

7. その他

- ・ボールは大会本部が用意する。全5球によるマルチボールシステムとする。
- ・マッチコーディネーションミーティングは試合開始予定時刻の60分前に行います。
- ・事前に両チームでユニフォームを確認し、主審に報告、承認を得ること。
- ・メンバー表は社会人連盟指定の様式を使用し、試合開始の60分前までに提出すること。
- ・PK戦等による次試合開始時間の変更や練習時間は会場担当運営役員の指示に従うこと。
- ・各グラウンドともアップが殆ど出来ないため、ピッチ内外のアップは、会場役員の指示に従うこと。
- ・*ハーフタイムは試合中のチームの練習のみ。

*記録要員の遅刻、審判の遅刻、運営の不備等生じた場合はペナルティーを科す場合がある。
*会場の美化に努めること。来た時よりも美しく！皆で協力してゴミを持ち帰るようチームで徹底すること。
*各会場では、鳴り物（太鼓、ラッパ）等による応援は禁止する。